



測量士補試験 合格体験記

村上興業株式会社 技術部 長戸 裕久

私は以前も測量士補を受験したことがあり、本年は3度目の挑戦でした。過去2回の受験は、市販のテキストを購入し、独学で勉強を進めていましたが、正直なかなか理解が進まないまま受験に臨んだため、結果合格することができませんでした。

今回は3度目の挑戦ということと、仕事上で資格の取得が重要であることが合わさり、自分自身大きなプレッシャーとなり、今回はどうしても合格したいと強く思っていました。そんな時に、日本測量協会の受験対策セミナーがあることを知り即受講することを決めました。

いざ、教材が届き目を通してみると、テキストの厚さにびっくりし、「これを全て覚えられるのか」と不安になりました。しかし実際の講義では、テキストを一から解説するのではなく、大事なポイントに絞っての講義内容でした。そのため、勉強のポイントを明確にすることができました。

講習後の学習方法は、セミナーの内容をひたすら書き写したノートを、何度も何度も復習し、対応する箇所の過去問題を繰り返し解くことで、理解を深めていきました。

試験当日は、「勉強した箇所が出題されれば合格できる、出題されなければ不合格になる」と考えました。その様な開き直った考えをしたことで、緊張することもなく、試験に臨むことができました。そして試験問題は、勉強した箇所が多く

出題されたため、心の中でガッツポーズをしたことを覚えています。

本格的に勉強を始めた時期が遅かったことや、仕事終わりが夜遅くになることもあるなかで、学習時間を確保することは難しく、受験勉強に充てられた時間は比較的少なくなってしまいましたが、重要なポイントを絞った勉強ができたおかげでなんとか合格することができたと思います。

次は測量士を受験しようと考えており、できれば測量士の受験対策セミナーも受講したく思っています。

ご指導くださった先生方、ありがとうございました。





測量士補試験 合格体験記

株式会社 kawachi航測 高嶋 博子

4年前、国土地理院近畿地方測量部で期間業務職員として働いた時、ひとつの建物がいろんな人の手によって、地形図に掲載される様子を目の当たりにして、測量という仕事はおもしろいと思い、次第に資格を取得したいという気持ちが強まった。

受験一年目。測量士補の試験を受けると決めて勉強を始めたが、高校以来の数学。理解できない。数学をもう少し勉強しようと思ったが、試験まであと数週間。形だけでも無理やり覚えたが、手前味噌での知識では、もちろん、不合格。

また、不合格の要因は知識以外に「自分の甘さ」にあった。仕事、主婦と時間のやりくりがうまくいかず、いざ休日。溜まりこんだ家事をこなすと休日はあっという間に過ぎ、勉強ができないまま月曜日。こんなサイクルでは合格は遠い。

3回目の不合格通知が届いた昨年7月。本気で資格を取るなら、根本的に時間の使い方を見直さなければと思い、考えた末、①通勤を勉強時間に充てる。②疲れていても平日に1題でもよいので過去問を解く③日曜日は休む という3つの誓い(?)をたてた。

そして、試験に対する自分の弱点を見直していなかったのが、今までの試験でつまづいた写真測量や多角測量を過去問題集で自信がつくまで徹底的に解いた。さらに、受験勉強に役立つと思い、日本測量協会の技術講習会を積極的に受講した。

今年は関西支部主催の測量士補受験対策講座の

3日間のコースを受講した。先生方は各科目の要点を分かりやすく説明された。もっと早く受講すればよかったと後悔するほど充実した講義だった。そのため、試験当日は今までより自信を持って試験に臨むことができた。

合格発表の日。国土地理院のホームページで受験番号を確認。嬉しさもあったが、その場でへたれこんだ。数日後、合格通知が届き、登録申請を済ませ、8月に登録確認証が届いた。ようやく希望の測量士補になった。

現在、アルバイトとして、9月から測量会社にお世話になっている。慣れないこともあり、周りの先輩方にご迷惑をかけているが、自分なりに何とか頑張っている。まだ、よち歩きだが、測量の世界へ一歩ずつ前に進んでいきたい。

